

# 気象学に関する長期総合調査研究計画についてのアンケート

日本気象学会では、下記の要領により会員各位より長期計画のアンケートを求めることになりましたので、御多忙中ではありまじょうが添付用紙に、日頃いだいておられる貴重なご意見の数々をお寄せ下さるようお願いいたします。

昭和38年 8月 5日

日本気象学会

記

## 1. 趣旨

近年、気象学の各分野は著しい発展をとげ、かつ専門分野が細分されると共に新しい分野が開拓されてきていることは、周知の通りである。あるものは古いものからの脱皮が要望され、あるものは発展の一段階を劃して新しい飛躍のための模索段階にあり、さらにあるものはその意義についての反省を求められている。

一方気象学に対する社会的要望は従来になく高まってきたており、気象学の現状についての十分な分析を行ない将来進むべき方向についての見通しを確立することが必要である。

最近、わが国では学術会議、科学技術庁などの提唱により、学問技術の分野において長期将来計画の討論が活発となってきているが、国外でも各学会が年度々々に将来への展望についての具体的発表が行われている現状である。

気象学会でも、広くアンケートを募ってこの種の議論を活発にすると共に、学会としての基本方針を打ちたて必要な各方面に働きかけ、気象学の発展に寄与したい考えである。

## 2. アンケート内容

### 【質問1】(基礎的研究)

基礎的分野において、長期的観点(5~10年)に立って計画的に推進することが特に必要と思われる研究課題は何か?

その研究課題の具体的な推進方策(研究者、研

究組織研究費、研究施設・設備などに関する諸問題)は何か?

推進することの必要な理由は何か?

### 【質問2】(応用的研究)

今後長期間重点的に推進すれば、とくに豊富な研究成果が予想され、将来わが国の産業、国民生活の向上に貢献する技術を開発しようどのような研究課題があるか?

その具体的推進方策(研究者、研究組織、研究費、設備などに関する諸問題)は何か?

推進することの必要な理由は何か?

### 【質問3】

(a) 研究の発展のために、改善もしくは確立してほしい制度、整備してほしいデータ、実現したい技術水準、利用したいサービス(計算、分析資料の分類、保存、情報処理など)があるか? それを必要とする理由は何か?

(b) 関連研究分野において意識的に解決をはかっていた問題があるか? 解決を必要とする理由は何か?

(c) 研究推進上に最大のあい路となっている問題点、およびその解決策。

### 【質問4】

とくに重要と考えられる問題点(たとえば長期予報の研究台風の研究集中豪雨など small scaleの問題など)について、現在の研究の進め方に対する批判、将来の研究方針など、具体的な研究内容に関する意見(専門外の立場でも結構です)。

## 3. 募集期限

昭和38年10月末日

## 4. 送付先

東京都千代田区大手町 気象庁内

日本気象学会 学術委員会

# アンケート

回答者所属 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

## 質問1 (基礎的研究)

(1) 基礎的分野において、長期的観点(5~10年)に立って計画的に推進することが特に必要と思われる研究課題は何か?

(2) その研究の具体的な推進方策は何か?

(3) 推進することの必要な理由は何か?

質問2 (応用的研究)

(1) 今後長期間重点的に推進すれば、とくに豊富な研究成果が予想され、将来わが国の産業、国民生活の向上に貢献する技術を開発しうるどのような研究課題があるか？

(2) その具体的推進方策は何か？

(3) 推進することの必要な理由は何か？

## アンケート

回答者所属 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

### 質問3

a) (1) 研究の発展のために、改善もしくは確立してほしい制度、整備してほしいデータ、実現してほしい技術水準、利用したいサービスがあるか？

(2) それを必要とする理由は何か？

b) (1) 関連研究分野において、意識的に解決をはかってほしい問題があるか？

(2) 解決を必要とする理由は何か？

c) 研究推進上に最大のあい路となっている問題点、およびその解決策

質問 4

とくに重要と考えられる問題点について、現在の研究の進め方に対する批判、将来の研究方針など、具体的な研究内容に関する意見